

水稲におけるカドミウム及びヒ素濃度低減技術の実証・普及

令和8年度予算概算決定額1,896百万円（前年度 1,896百万円）の内数

<対策のポイント>

国際的なコメ中のカドミウム及びヒ素基準値の見直しの動き等を踏まえ、より安全な農作物の供給体制の確立に向け、水管理の省力化等の研究成果に基づく水稲のカドミウム及びヒ素濃度低減対策を推進します。

<事業目標>

水稲におけるカドミウム・ヒ素濃度低減技術を都道府県の5割で導入〔令和12年度まで〕

<事業の内容>

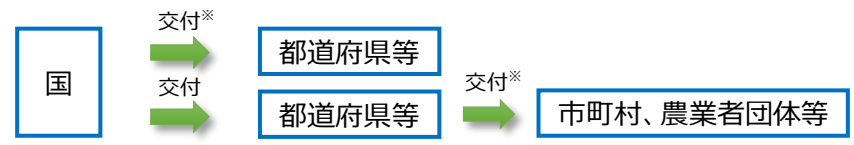
1. カドミウムとヒ素の同時低減対策の確立

カドミウムとヒ素の同時低減が必要な地域において、カドミウム低吸収性イネと出穂期の水管理等を組み合わせたカドミウム及びヒ素濃度低減技術の実証試験や、水田からのメタン排出削減技術との両立に向けた実証試験を行うとともに、実証結果を踏まえた技術の普及体制の構築を支援します。

2. ヒ素濃度低減対策の確立

水管理等による水稲におけるヒ素濃度低減効果と生育・収量等の両立に向けた実証試験や、水田からのメタン排出削減技術との両立に向けた実証試験を行うとともに、実証結果を踏まえたヒ素濃度低減技術の普及体制の構築を支援します。

<事業の流れ>



※ 1の事業のうち技術の実証試験の実施：10/10
1の事業のうち技術の普及、2の事業：1/2以内

<事業イメージ>

